

さい たま けん すい しょう と しょ
令和
6年度 埼玉県推奨図書



乳幼児向け

■埼玉県では、青少年のみなさんに
読んでほしい図書を薦めています■

ゆきって なあに？



ユーヴァル・ゾマー／作
木坂涼／訳
国土社

春に生まれたウサギとキツネ。まだ見たことがない雪のことを、森の仲間たちに聞いてみることにしました。「ゆきっていうのはね…」それぞれが教えてくれるヒントを得ながら、ふたりは森を進みます。「はじめて」への好奇心が伝わってくる絵本です。

あめがふってきたよ



メアリー・サーフォ／文
ケイコ・ナラハシ／絵
木坂涼／訳
徳間書店

女の子がさんぽをしていると雨がふってきました。土や屋根にしずくがあたり、池や道路にもふりかかります。女の子はかさも長ぐつもなげだして雨を全身で楽しみます。夏の雨の一日を、雨や水にまつわる様々な音と鮮やかな絵で描いた印象的な絵本です。

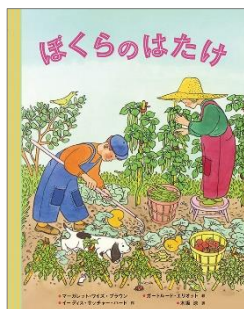
うかぶかな？
しずむかな？



川村康文／文
遠藤宏／写真
岩崎書店

水の中に、お気に入りのおもちゃを入れてみたら…「うかぶかな？しずむかな？」小さいものはうかぶ？重いものはしずむ？お家にあるもので実験してみよう。目には見えない浮力をわかりやすく写真で伝えてくれます。楽しみながら想像力がふくらむ1冊です。

ぼくらのはたけ



マーガレット・ワイズ・ブラウン／作
イーディス・サッチャー・ハード／作
ガートルード・エリオット／絵
木坂涼／訳
好学社

春になるとはたけしごとがはじまります。土をたがやし、たねをまき、草とりをします。そして野菜が実ってくるとかかしをたてます。男の子と女の子が、そのまわり住む生きものと共生しながら畑で過ごす。農作業の楽しさと収穫の喜びにあふれた絵本です。

ぎゅっ
だーいすき！



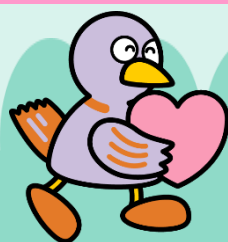
新井洋行／作
童心社

ぎゅっとするのが、だーいすきなコアラくん。ふわふわのうさぎちゃんや、おかあさんの背中に、ぎゅっ！こんどは、ぼくがコアラくんを…ぎゅっ！スキンシップが楽しいあかちゃん絵本です。

6ヶ月の娘に読みました。「ぎゅっ！」という音の響きとくり返しが楽しいようで、終始笑顔。のぞき込むように、前のめりになってよく見えています。ぼくが「ぎゅっ！」としてもらう場面では、娘を「ぎゅっ！」と抱きしめながら親子で楽しんでいます。「ぎゅっ！」と遊べるスキンシップ絵本です。

小川町在住

0歳児母親



埼玉県マスコット
「コバトン」

問合せ先：埼玉県 県民生活部 青少年課

✉ a2905-01@pref.saitama.lg.jp

☎ 048-830-2907

図書一覧はこちら





彩の国
埼玉県

令和6年度 埼玉県推奨図書



小学校
1・2年生向け

■埼玉県では、青少年のみなさんに
読んでほしい図書を薦めています■

ちやうちやう ちやうねん



もりなつこ／作
はしもとえつよ／絵
文研出版

ある日、あつくんに「すきかも」って言われた。「すき」ってどんな気持ちかな？どうして「すき」になるのかな？「すき」っていう気持ちも、いっしょに考えてみよう！

ぼくのいぬはどうして こんなにかわいいのか



しゅん／作
えがしらみちこ／絵
KADOKAWA

夏休みの自由研究は、愛犬のチャコに決めた！「なんで？」「どうして？」という視点で愛犬を見つめる小学2年生の自由研究から生まれた、感動の絵本。老犬へのまっすぐな愛情が伝わってくる一冊です。

やさいのはな なんのはな？



宮崎祥子／構成・文
網野文絵／写真
岩崎書店

いつも食べている野菜は、どんな花をつけるのかな？きれいな写真がいっぱいあって、どんな野菜の花が考えながら読むと、とってもおもしろい！見たことがある花もあるかもしれない。クイズ形式の科学絵本。

リジーと雲



テリー・ファン／作
エリック・ファン／作
増子久美／訳
化学同人

主人公の女の子リジーは、雲売りから買った雲を大切に育てます。雲との暮らしには、きまりがたくさん。リジーは一生懸命お世話をします。大きくなった雲は、どうなるのでしょうか？雲を眺めたい一冊です。

おかしのまちの おかしなはなし



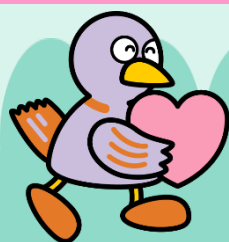
いわさきさとこ／作・絵
フレーベル館

お菓子の街には、和菓子たちと洋菓子たちが暮らしています。しかし、毎日喧嘩ばかり…そこに和菓子でも洋菓子でもない「誰か」がやってきて…「誰か」の正体がわかるかな？街に平和は訪れるかな？

ぼくは、わがしもようがしもすき。だから、けんかなんかしなきゃいいのにおもったよ。たま・たまおさんが、いろんなおかしにへんしんするのもおもしろいし、いっしょにじっけんしてみたくなったよ。たま・たまおさんが、おかしのまちにひっこしてきたりゆうがわかっておもしろかったよ。おかしのまちに、ぼくもいつてみたくなったよ。

深谷市立明戸小学校

1年生



埼玉県マスコット
「コバトン」

問合せ先：埼玉県 県民生活部 青少年課

✉ a2905-01@pref.saitama.lg.jp

☎ 048-830-2907

図書一覧はこちら





彩の国
埼玉県

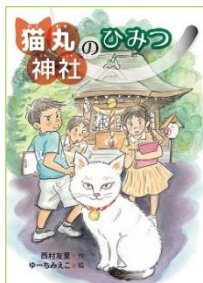
令和6年度 埼玉県推奨図書



小学校
3・4年生向け

■埼玉県では、青少年のみなさんに
読んでほしい図書を薦めています■

猫丸神社のひみつ



西村友里／作
ゆーちみえこ／絵
国土社

みきと いえ ねこまるのじんしゃ まち
幹人の家である猫丸神社は街のはしに
ある小さな神社。ある日、総合の授業で
猫丸神社について調べることになった幹
人、結衣、想太だったが…。神社に隠され
た謎の解明と3人の関係の変化に引き込
まれ、最後までわくわくしながら読める物
語です。

どんなイチゴも、 みんなかわいい

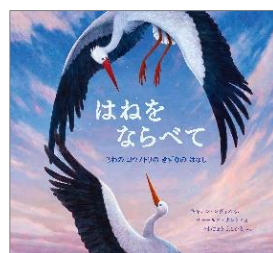


葦原かも／作
中田いくみ／絵
童心社

フクロウやミズクが好きな三年生のアヤ
は、クラスでやる劇のミズク役になろう
か迷っている。そんなある日、アヤはジュ
ズダマを見つけて…。引っ込み思案だっ
たアヤが、だんだんと自分らしさを出して、
友達と親交を深めていく、心温まる話で
す。

はねをならべて

2わのクウノトリのきずなのはなし



キャレン・
レヴィス／作
チャールズ・
サントソ／絵
いわじょう
よしひと／訳
BL出版

クウノトリのクレパタンとマレナはずっと
いっしょにたびをしていた。ところがある日、
マレナは大きくなって…。性格の異
なる2わが互いを想いながら行動する姿
に心打たれる、実話をもとにした2わのク
ウノトリの絆の物語です。

うみ 海にしずんだ クジラ



メリッサ・
スチュワート／
文
ロブ・ダンラヴィ
／絵
千葉茂樹／訳
BL出版

いのち お いっとう しず
命を終えた一頭のクジラが静かにゆっく
り海の底へと沈んでいった。深海でひっそ
り暮らす生きものたちにとって、それはす
ばらしい贈り物となる。クジラの死が何百
万もの生きものたちの命を支えていること
が美しい絵とともに丁寧に描かれ、引き
込まれる。

あこがれの ユーチューバー

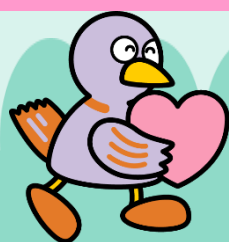


牧野節子／作
はせがわはっち
／絵
国土社

人気のユーチューバー、ピカリンに憧れる
俊と、寄席で見た紙きり芸に夢中な英太。
ひょんなことから一緒に紙きりの発表をす
ることになった2人だったが…。「ユー
チューバー」と「紙きり」という正反対の
夢をもった2人の笑いあり、涙ありの友情
の物語。

わたしはこの本を読んで、紙
切り芸というものを初めて知り
ました。紙切り芸は江戸時代か
ら続いている伝とう芸で、その
場で作ってものをみんなにあげ
たり、何を切るのか選ばせてく
れたりするのがおもしろいです。
物語の最後にじいちゃんがひろ
うした紙切り芸は、まごのしゅ
んのえいきょうで新しくなっ
てとてもいいアイデアだと思
いました。わたしは、この紙
切り芸が子ども達にも広まれば
いいなと思いました。

吉川市立吉川小学校
4年生



埼玉県マスコット
「コパトン」

問合せ先：埼玉県 県民生活部 青少年課

✉ a2905-01@pref.saitama.lg.jp

☎ 048-830-2907

図書一覧はこちら



さい たま けん すい しょう と しょ
令和
6年度 埼玉県推奨図書

小学校
5・6年生向け

■埼玉県では、青少年のみなさんに
読んでほしい図書を薦めています■

ひと箱本屋と
ひみつの友だち



赤羽じゅんこ／作
はらぐちあつこ／絵
さ・え・ら書房

小学5年生の朱莉は、ひと箱本屋カフェを訪れ、そこで売られていた手作りの本に心をうばわれる。作者は同世代の女の子で、車いすユーザーだった。心のバリアをなくすには、時間を共に過ごし、経験を共に積み重ねることから始まる。友情と同様の境はどこに？

今日も
ピアノ・ピアーノ



有本綾／作
今日マチ子／絵
Gakken

小学6年生の海斗。塾に向かう途中、駅にあるピアノで美しい音をつむぐおじさんに出会う。忙しい現代の小中学生に贈る小さな「変化」の物語。ピアノ・ピアーノはイタリア語で「あわてず、ゆっくり、少しずつ」の意味。自分のやりたいことを見つけてみては？

すき、好き、スキ。



イノウエミホコ／作
ふうき／絵
文研出版

小学6年生のワトと胡太は、ミニバスケットボールクラブのOBで高校1年生の高刀翔也くんに憧れている。胡太は自分の感情が単なる憧れでないことに気づく。自分の「好き」と相手の「好き」が同じ種類とは限らないし、「好き」にもいろいろな「好き」がある。

ホワイトバード



R・J・パラシオ／原作
エリカ・S・パール／ノベライズ
中井はるの／訳
ほるぷ出版

ジュリアンが祖母から聞かされたのは、第二次世界大戦下にユダヤ人である祖母が体験した生々しい戦争の物語だった。なぜ、祖母は生き延びることができたのか。「二度と過ちを繰り返さないために、起きたことを知り、語り継いでいく」ことの大切さを訴える。

ケモノたちが
はしる道



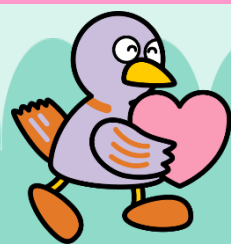
黒川裕子／作
静山社

「熊本のジジさまのところに行って、ケモノを獲るところからその後まで、経験してみない？」母の提案で、おしゃれとゲームが大好きな今どきの中学1年生の千里が、熊本の雄大な山とあたたかい人々にふれ、わな猟を体験するうちに、「命」の重みを知っていく。

都会に住む千里が、全く違う環境の中、わな猟を経験して真剣に「命」と向き合い、「生きている肉」について考えていることに感心した。

初めは人間と同じように生きていた生物だった。しかし、人間によって命を落とされた。生き物の一つの命が亡くなったのだという事実をしっかりと受け止め、命に感謝しながら食することで、死を無駄にしないようにしなければならぬと思う。

所沢市立小手指小学校
6年生



埼玉県マスコット
「コバトン」

問合せ先：埼玉県 県民生活部 青少年課

✉ a2905-01@pref.saitama.lg.jp

☎ 048-830-2907

図書一覧はこちら



令和
6年度

埼玉県推奨図書



中学生向け

■埼玉県では、青少年のみなさんに
読んでほしい図書を薦めています■

ハーベスト



花里真希／著
講談社

3人しかいない園芸部に所属するべく、西森くん、先輩のアズサ。彼らはそれぞれの事情を抱えながら、フランス語で菜園を意味する「ポタジェ」を作るために顧問の平林先生と奮闘する。他人と自分の違いや、人との付き合い方に悩む中学生に読んでほしい一冊。

アンナの戦争 キングダートランスポートの少女の物語



ヘレン・ピーターズ／作
尾崎愛子／訳
偕成社

アンナは戦火を逃れ、キングダートランスポートでイギリスへ渡る。両親に再会するため、イギリスの里親家族の元で懸命に暮らす。あるときアンナは、負傷した兵士を見つけ助ける。この兵士は実はドイツ軍のスパイで…。戦争や生き方を学べる一冊。

さみしい夜には ペンを持て



古賀史健／著
ならの／絵
ポプラ社

中学生のタコジローは、タコに生まれたことを悔やみ、学校にも居場所がないと感じている。しかし、ある日バスを乗り過ごした先で不思議なヤドカリおじさんと出会い、考える大切さや気持ちを書き出す大切さを教わったことで、タコジローは変化していく。

アップサイクル！ ぼくらの明日のために



佐藤まどか／作
木内達朗／装画・挿絵
ポプラ社

夏休みの課題研究として3R問題から廃材の利用工夫に注目して見出だした「アップサイクル」という考え方。登場人物たちは様々な壁に立ち向かいながら、誰の気にも止まらないような廃材の活かし方を模索していく。

きみの話を 聞かせてくれよ

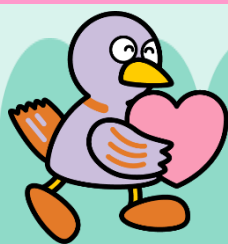


村上雅郁／作
カシワイ／絵
フレーベル館

新船中学校の生徒たちの物語。7つの章で登場人物が入れ替わりながら、クライマックスに向かい、互いの思いや行動が繋がっていく。もやもやする気持ちや心の傷、誰にも言えない秘密。そんな心にそっと寄りそい、話を聞いてくれる人がいる幸せを感じられる。

印象に残ったのは「黒野良輔」です。悩みを抱えている人の話を聞いて、解決につなげていきます。印象に残ったセリフは、「泣けるときは泣けるだけ泣いたほうがいいぞ」です。つらいことや悲しいことがあって泣きたいときには、泣いてもいいということ黒野くんに教えられました。解決への道筋を示したり、アドバイスをしたりするわけではないけれど、黒野くんの言動によって、誰かの悩みが解決されていくのは、とても良いなと思いました。

熊谷市立大原中学校
3年生



埼玉県マスコット
「コバトン」

問合せ先：埼玉県 県民生活部 青少年課

✉ a2905-01@pref.saitama.lg.jp

☎ 048-830-2907

図書一覧はこちら



令和
6年度

埼玉県推奨図書



高校生・青年向け

■埼玉県では、青少年のみなさんに
読んでほしい図書を薦めています■

友だちが しんどいなくなる本



石田光規／著
講談社

「友だち」って、何？課題ノートを見せてあげたら友だち？SNSで既読や「いいね」を付けないと、友だちじゃないの？SNSが無かった頃は、みんなどうやって友だち付き合いしていたの？ーそんな問いに、社会学の視点からヒントをくれる一冊。

弟は 僕のヒーロー



ジャコモ・
マッツァリオール／著
関口英子／訳
小学館

弟のジョヴァンニは「特別な子」として生まれた。彼なりのテンポがあるのだ。広場の真ん中でいきなり音楽に合わせ踊ります。二人の姉のために毎日庭で花を摘む。花がなければ枯葉を持ってくる。これはそんなジョヴァンニを兄から見た物語。

続 窓ぎわの トットちゃん



黒柳徹子／著
講談社

『窓ぎわのトットちゃん』42年ぶりの続編！徹子という名前が発音できずに「トットちゃん」と呼んでいた黒柳徹子さん。ハイカラな家庭、東京の女学校、NHKや芸能界など興味深い人生を送るが、特に幼少期の戦争体験は一読の価値あり。

私たちの世代は



瀬尾まいこ／著
文藝春秋

新型コロナウイルス感染症により、引き起こされた環境に適応できなかった牙と心晴。不自由で息苦しかったあの日々はなんだったのだろうか。いじめにあったり、ひきこもりになった二人が就職活動で出会い、それぞれ悩み苦しみながらも前を向いて歩いていく。

八秒で跳べ

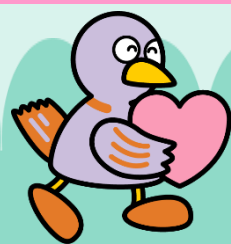


坪田侑也／著
文藝春秋

明慶高校バレー部2年の宮下景は、全国大会予選直前に靱帯を損傷。チームも全国大会出場を逃してしまう。それ以来、景はバレーとの向き合い方に悩みはじめる。仲間との対立や、怪我のきっかけとなった同級生真島綾との関わりのなかで見つけた景の答えとは一。

部活動や自分の好きなことに高校の三年間という短い時間を捧げることの尊さ、高校生の成長に胸を打たれました。思い悩むからこそ、自分自身を深く見つめ直し、自分の本心に気づくことができる。そして次の一步を大きく踏み出すことができる。毎日を頑張る高校生にぜひ読んでほしい青春讃歌です。

埼玉県立春日部高等学校
1年生



埼玉県マスコット
「コバトン」

問合せ先：埼玉県 県民生活部 青少年課

✉ a2905-01@pref.saitama.lg.jp

☎ 048-830-2907

図書一覧はこちら

